

北朝鮮人権侵害問題 啓発週間

12月10日～16日

ブルーリボンをつけて
拉致問題解決への支援の輪を
広げましょう！

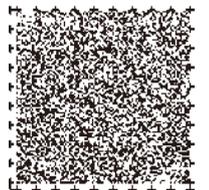


福井県人権シンボルマーク

福井県・福井地方法務局・
福井県人権擁護委員連合会



健康長寿の福井



音声コード

県民の皆さんの声が、 帰国を待ち望む家族の 支えになります。

北朝鮮拉致問題の 早期全面解決を!

拉致問題の解決をはじめとする北朝鮮当局の人権侵害問題への対処は、いま国際社会を挙げて取り組むべき課題とされています。

政府は「拉致問題対策本部」を設置し、拉致問題の解決に向けたさまざまな取り組みを行っています。一刻も早い解決を目指して国際社会へ強く働きかけるには、県民のみなさんの声が力となります。すべての拉致被害者が帰国し、拉致問題が全面解決するまで関心を持ち続けていただけるよう、県・福井地方法務局・福井県人権擁護委員連合会では、街頭啓発やパネル展などの啓発活動を行っています。

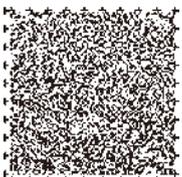
ブルーリボン運動とは…

北朝鮮による拉致被害者の生存と救出を信じる意思表示として、NGO「北朝鮮に拉致された日本人を救出する市民ネットワーク」の提案で始まり、全国的に取り組まれている運動です。

福井県においても、1人でも多くブルーリボンを着用し、より一層、拉致問題解決への支援の輪を広げましょう。

 リボンのブルーは、「近くて遠い国である北朝鮮と、祖国日本を隔てる『日本海の青』と、拉致被害者の方々とその御家族を唯一結んでいる同じ空である『青い空』をイメージ」しています。

 日常の生活を通してブルーのリボンを着けるほか、ブルーのシャツや小物を身に着けたり、家や店の軒先などにブルーのハンカチやリボンを結んでもらう運動です。
(リボン等の形や大きさ、着け方は問いません。)



問合せ先

福井県拉致被害者・家族支援チーム
(健康福祉部地域福祉課人権室)

TEL 0776-20-0328
FAX 0776-20-0637